

週替わりで一息！

第2022回例会（第33版）

今回の二十四節気・七十二候（にじゅうしせつきしちじゅうにこう）

啓蟄(けいちつ) 啓蟄とは、土中で冬ごもりをしていた小さな虫などの生き物たちが陽気や春雨に目覚める頃のこと。生き物たちは久しぶりに感じるさわやかな風と麗らかな春の光の中で生き生きとしています。

初候「三月六日～十日」 蟄虫啓戸(すごもりむしとをひらく) 7

「冬ごもりの虫が出てくる」土中で冬眠をしていた虫たちが、暖かい春の日差しの下に出てき始める頃。虫とはいいますが、冬眠から目覚め始めるすべての生き物のことを表しています。つ啓は「ひらく」、蟄は「土の中で冬ごもりをする虫」の意。この頃に、日本全国で「春一番」が吹きます。立春から春分の期間に南寄りの強風のこと、春二番、春三番もあり。

次候「三月十一日～十五日」 桃始笑(ももはじめてさく) 8

「桃の花が咲き始める」桃のつぼみが開き、花が咲き始める頃。昔は“咲く”という言葉“笑う”と表現したそうです。ゆっくりと開いていく桃の花は、ほほ笑んでいるようにも見えます。天地一切の物が微笑んでいるかのような季節です。三月十三日は十三歳の男女がお参りする十三参り。

10年前の主なニュース（2006年3月4日～3月10日）

- ・大和田ショッピングセンター「コパ」から「エルパ」に改名。
- ・江守商事上場初値1400円。1906年3月-江守薬店創業。1958年5月-株式会社江守商店設立。1970年11月-江守商事株式会社に商号変更。2015年5月31日-東京証券取引所1部の上場廃止

リ-百科事典Wikipediaより

「本日2月26日の金曜日」の卓話！「三國湊の豪商 内田家」みくに龍翔館学芸員 釣部由紀子氏



三国内田家の系譜から初代は「惣右衛門」元禄16年(1703) 三国へ分家 三代目惣右衛門 宝暦10年(1760)、福井藩の御用を努め始める。

次年度幹事報告

委員会報告「親睦」

「研修情報」

100%出席表彰(25年)



地区研修・協議会
開催の案内



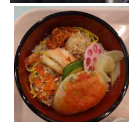
地区大会参加
親睦旅行の案内



情報集會に
ついて



四つのテスト



「ランチ」
セロ蟹 井